

平成 29 年度第 1 回 松江市公共交通利用促進市民会議

1 日 時 平成 29 年 6 月 22 日(木) 14 時 00 分～15 時 00 分

2 場 所 松江市役所西棟 5 階 防災センター

3 出席者

- (1) 委員 田中隆一、陶山郁也、永見繁徳、小数賀安富、佐々木和子、家島滋、伊瀬孝子、
佐々木弘臣、三島花子、木下正人(代理)、勝部昌幸、飯野公央、浅田純作、眞田安利、
梶谷彰宏、細田正人、斉間康浩(代理)、小柴正幸(代理)、山崎浩、新宮稔、西山龍司、
山川耕資(代理)、福島琢二、森原透、坂田仁志(代理)
- (2) 事務局 歴史まちづくり部長 藤原亮彦
歴史まちづくり部次長(都市政策課長) 永田明夫
交通政策課長 比田誠
交通政策課交通企画係長 佐藤広樹、交通政策課バス交通係長 石津宏明、
交通政策課交通企画係主任 岩崎信也、交通政策課交通企画係主任主事 福本浩紀、
交通政策課バス交通係副主任 安部耕太郎、交通政策課バス交通係主任主事 谷本昌晃

4 内 容

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

報告事項(1)平成 28 年度松江市公共交通利用促進市民会議事業報告について
～松江市のバスを中心とした公共交通の現状について～

(2)平成 28 年度松江市地域公共交通網形成計画策定事業について

- ・事業報告について
- ・決算報告について
- ・監査報告について

協議事項(1)平成 29 年度事業計画(案)について

(2)要綱改正について

4 その他

5 要 旨

1 開会

2 あいさつ

- ・藤原部長があいさつをした。
- ・飯野会長があいさつをした。

3 議事

報告事項(1)平成 28 年度松江市公共交通利用促進市民会議事業報告について

- ・平成 28 年度松江市公共交通利用促進市民会議事業報告について承認された。

報告事項(2)平成 28 年度松江市地域公共交通網形成計画策定事業について

- ・事業報告について承認された。
- ・決算報告について承認された。
- ・監査報告について承認された。

協議事項(1)平成 29 年度事業計画(案)について

- ・平成 29 年度事業計画(案)について承認された。

協議事項(2)要綱改正について

- ・要綱改正について承認された。

4 その他

- ・交通事業者が各事業の紹介をした。

1 開会

(比田課長)

それでは、まだお見えにならない方もいらっしゃると思いますが、定刻になりましたので、ただ今から平成 29 年度の第 1 回の松江市公共交通利用促進市民会議を開催させていただきたいと思います。本日司会を務めます、歴史まちづくり部交通政策課長の比田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

開会に当たりまして、藤原歴史まちづくり部長からご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

(藤原部長)

失礼いたします。歴史まちづくり部で部長をしております藤原と申します。第 1 回目の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

まずもって昨年は、地域公共交通網の形成計画、皆様方のご尽力によりまして立派な計画が策定できましたことを心よりお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

松江市では、この 6 月 1 日に組織機構改革というものを行いました。どういう内容かと言いますと、新たに先ほど課長がご挨拶申し上げましたが、交通政策課という課を立ち上げたところです。これまで、都市政策課の中で交通対策係ということで、係でございました。路線バスそれからコミュニティバスというところを担当しておりましたが、この 6 月から広域交通である J R、一畑電車、隠岐汽船、それから航空機の関係、そういった交通に関わる全ての分野を私どもの交通政策課で所管するということになったところでございます。交通に関しては、一元的に同じ視点で見ることができ体制を作り出したということでございます。この皆様方のご尽力でできました計画を、充実した体制の下で着実に実行してもらいたいというふうに考えているところでございます。

今年度の計画をまたご協議申し上げるところですが、事務局も充実いたしましたので、皆様方と連携して、より一層この公共交通が将来にわたって維持できますように、バスを中心として利用促進を図って参りたいというふうに考えております。今日も皆様方から様々な観点でご意見を頂戴いたしまして、より良い形でこの施策が進んでいきますことを祈念して、冒頭のご挨拶とさせていただきたいと思います。本日はお世話になります、どうぞよろしくお願いいたします。

(比田課長)

本日使用いたします資料でございますけれども、お手元に一括置かせていただいております。会議の次第、委員名簿、資料が 1 から 8 までございます。また、別に席次表も配布をさせて頂いておりますのでご確認くださいと思いますが、不足の資料等が仮にございましたら、途中でも構いませんので手を上げてお知らせをいただければ、職員が参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それからご発言を頂く場合がございますが、お手元にスタンドマイクがございます。これはスイッチを一回押すとスイッチが入りまして、終わってまた押すと切れると、こういうふうになっておりますので、所属とお名前を頂戴した後にお話をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから、この市民会議の委員の皆様につきましては、2 年という任期をお願いさせていただいております。ですが、人事異動あるいは役員の交代、こういうものによりまして、途中での交代がございましたのでご紹介を申し上げておきたいと思っております。松江市町内会・自治会連合会から小敷賀様、島根県旅客自動車協会から眞田様、一畑バス株式会社から梶谷様、島根県松江県土整備事務所から福島様、松江警察署から川上様、以上の方でございます。どうぞよろしくお願いいたします。また、本市の管理課からの選出についてでございますが、これも人事異動によりまして、森原委員に交代しておりますので、ご承知置きをいただければと思います。詳細は別紙委員名簿の網掛けの部分が、今回の会から変更になった委員の方々でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、飯野会長よりご挨拶をいただき、その後、議事進行を引き続きお願いしたいと思います。飯野会長、どうぞよろしくお願いいたします。

(飯野会長)

では皆さん、お暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。一つ提案をさせていただきたいのですが、今から6年7年ぐらい前でしょうか。一回ですね、市民の皆さんやここにいる皆さん、事業者の皆さんに、職場や家で余っているうちわがあつたら供出してくださいと、それをレイクラインのお客様に使ってもらおうというプロジェクトをだいぶ前にやったことがあって、観光客の皆さんにも喜んでもらったというのがありました。また暑い季節になってきましたし、せっかく松江城も国宝になりましたし、観光客の皆さんに来て頂きますので、松江市民からちょっとしたお礼といいましょうか、おもてなしといいましょうか、そういうことで是非今年もそういったプロジェクトをやってみようかなと、ふと自転車通勤の私としては思っていました。ぜひ今日はあいさつの代わりにですけれども、そんな提案をさせていただいて、また事務局とも少し相談をしまして、どんな方向で進めたら良いかを考えますので、また交通局の皆さんも、一畑の皆さんもご協力いただいております。そういったことをちょっとできれば、将来的に松江の夏の風物詩みたいな形で、そういったことが出来ると良いなと思っています。ぜひそれをやってみたいなと思いますので、ご協力お願いいたします。

それでは早速、今日の中身に入って行きたいと思います。なお、市民会議は2時45分ないし3時前には一度終了いたしまして、その後勉強会ということで、是非皆さんと一緒に勉強したいなと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。基本的には勉強会はここにいる委員の皆さん全員を対象にしておりますが、申し訳ありませんが、傍聴者に関しましては、これは委員の勉強会ということになっておりますので、ご退席いただくことになるかと思いますが、どうぞお許してください。

3 議事

報告事項(1) 平成28年度松江市公共交通利用促進市民会議事業報告について

(飯野会長)

それでは議事に入りたいと思います。まず議事、報告事項ですが、(1)平成28年度松江市公共交通利用促進市民会議事業報告につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

(谷本主任主事)

平成28年度松江市公共交通利用促進市民会議事業報告について資料1を基に説明。

(飯野会長)

昨年度の活動の振り返りということですが、これに対しまして皆様から確認したいこと、あるいはご意見等、あるいは「この時にはこういうことをもっておいたら良かったんじゃないだろうか」というようなご意見がありましたら是非お寄せいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

こうしてみると随分いろんなことをやったなという感じはいたしますけれども。そうは言いましても利用状況、緩やかには上昇ということにはなっているんですが、なかなか500万人には回復しないですね。500万人切ったのが今から10年前くらいなんですね。実は今朝方気になったので、前回の第二次の計画、皆さんもこの委員になる際に渡されたと思うのですが、今回第三次計画を作ったわけなんですけれども、この第二次計画の時には、実はすごく将来予想が悲観的だったんですね。平成27年の段階では、下手をすると353万人まで落ちるのではないかって言う将来予測を、実は5年前の計画では立てていたのですね。「これはまずい、なんとかしなきゃ」と市民会議をはじめ皆さんのご協力で本当に一丸となって取り組んできた結果が、なんとか500万人をあと少しというところまで来たわけですので、ぜひこの第三次計画は、500万人をクリアしてさらに高みを目指すように頑張っていきたいなと思っております。よろしくお願いいたします。

そうしますと、前年度の振り返りはよろしいでしょうか。もし気になることがあつたら、また後でも結構ですのでお願いいたします。

報告事項(2) 平成 28 年度松江市地域公共交通網形成計画策定事業について

(飯野会長)

そうしますと、引き続きまして報告事項(2)平成 28 年度松江市地域公共交通網形成計画策定事業について、事務局より説明をお願いいたします。

(岩崎副主任)

平成 28 年度松江市地域公共交通網形成計画策定事業についてのうち、事業報告についておよび決算報告について資料 2 および資料 3 を基に説明。

(飯野会長)

ありがとうございます。そうしましたら、監査ですね、伊瀬委員よろしくをお願いいたします。

(伊瀬委員)

失礼いたします。監事の伊瀬でございます。去る 4 月 27 日、通帳、領収書など、関係書類を確認しましたところ、適正に処理がなされていたので、ここにご報告いたします。

(飯野会長)

ありがとうございました。これだけの経費をかけて作った網計画です。この貴重な税金を使ったということとを我々自身肝に銘じて、ぜひ利用促進につなげて行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。事業の決算および監査報告につきまして、皆様からご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

協議事項(1)平成 29 年度事業計画(案)について

(飯野会長)

そうしますと続きまして、協議事項に参ります。協議事項(1)平成 29 年度事業計画(案)につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

(佐藤係長)

平成 29 年度事業計画(案)について資料 5 および資料 6 を基に説明。

(福本主任主事)

平成 29 年度事業計画(案)について資料 7 を基に説明。

(飯野会長)

ありがとうございました。今のが 29 年度事業計画(案)ということですが、最初に 17 ページのところでは事業計画(案)ということで大きく 3 つの柱があったわけですが、決してこれ以外はやらないということではなくて、基本的には網計画に書かれている中身については基本的には進めるということの中で、とりわけこういったことを特に 29 年度は重点的にやっていこうという趣旨です。

また 18 ページのところでは、このスケジュールあるいは取り組みの重点事項ということが書いてありますので、こういったことに力を入れながら、各部会で作業を進めていただくと、それと進捗管理を併せて行うということになるかと思います。

そうしますと先ほどの 17、18 ページの議論や資料 7、30 ページの中身につきまして、皆様からご意見、ご質問等ありましたらよろしくお願いいたします。

(家島委員)

30 ページのノーマイカーウィークの取り組みについて、質問もかねての意見なのですが、この取り組みそのものは有意義だと思いますが、なかなか一般市民の方にその趣旨とか事業がまだまだ定着してないんじゃないかと思います。マスコミ各社も呼びかけてぜひ、まともにやるといわれる広告料等がかなり高くなると思うのですが、その趣旨をご理解頂いて、このノーマイカーウィークの前にスポットで流していただくなんて事は出来ないものかなと。下のところの周知方法の中に、6 番としてラジオ・CATV 等々ありますけど

も、できたらテレビ局のあるいはマスコミの特にあのNHKさん、夕方のニュースは皆さんローカルニュースを中心にしていますので、そういうところでちょっとで良いから触れて頂いて、こういうことやりますよという事を流していただくとずいぶん違うのではないかなと思います。

もう一点、学校もこのノーマイカーの取り組みに、事業所として挙がっている学校がいくつもあるのですが、ぜひたくさんの方の教職員の皆さんがいらっしゃいますので、学校にも呼びかけてはどうかと。特に教育委員会にもお願いしてということを感じました。以上です。

(飯野会長)

ありがとうございます。非常に建設的なご意見だと思います。それに関して言うと、先ほど施策をお伝えした啓発チラシを作るというのがありましたが、これも全部同じチラシを配るというのではなくて、場合によっては、先ほどにもありましたように学校には学校用のチラシを配るとか、何かそういった工夫をもうちょっとした方が良いのかなということも思います。ぜひまたそれは検討させてください。いつもありがとうございます。

他にいかがでしょう。

(勝部委員)

島根県の高等学校PTA連合会から来ております、勝部と申します。今年で2年目になります。

昨年もノーマイカーウィークのことで、ポスターやチラシが刷り上ってから言ったのですが、チラシを見る限りは、参加事業所との連携で行なわれるようにしか見えないのですね。ですからもっと情緒的に、例えば昨年度の結果の中で、色んなアンケートに答えられた人たちが非常に気持ち的に良かったと。経済的によりもむしろ気持ち的に良かったという感想をたくさん寄せられているのですが、そういったものをチラシの中に混ぜないと市民には広がっていかないのではないかなと思います。

それから、予算の問題になるのかもしれませんが、やはり市民の方向けに、メディアが食いつくためには、例えば日頃走っていないバスを路線バスとして走らせるとか。一番いまがピュラーな、これから人気が出ようとしているのはJRの瑞風号のバスですよね。ああいうバスとか、あるいはオープンバス、これはどこからか借りてこないといけないと思いますけど。そういったものでやっぱり目玉を作っていないと、市民はこのチラシだけではのって来ないのではないかなと。事業所を増やしてもやはりいわゆるポピュラーな姿にはならないのではないかなという感想です。

(飯野会長)

ありがとうございます。確かにそうですね。前年度にどういう感想を持たれたかという、同じ市民の感想や目線というのはとても重要です。ありがとうございます。

瑞風については、JRからは今日は和田さんの代わりに小柴さんがいらっしゃっていますけれども、頑張ってくれますか、小柴さんのところで。ここでいきなり言われても困りますよね。走り出したばかりなのに。でもそんな市民からの要望もあると。地域と共に謳っている会社でもあるので、ぜひそんなこともご検討いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。場合によっては、バスまつりの時にあの瑞風号のバスを持って来てもらうなんてことがあっても良いかもしれないですね。「いったい中はどうなっているのだろう」って、気になりますよね。

他にいかがでしょう。

(田中委員)

17ページに事業計画(案)があります。資料6ですね。事業計画(案)というのがあれば、収支計画というのが無いのだろうと思ったのですが、昨年度はこの交通網計画を作るというのが、実はこの委員会の事業になったのだと後でこれを見て気が付いたのですが、この委員会でこの計画を作ったというのが事業としての収支で、ほぼもう全部なんですね。この事業計画にはいろんなメニューがあって、予算ゼロでもできる事業はあるでしょうし、それからバス事業者さんで負担される事業もあるでしょうし、市が予算を出してあるいは補助を出して進める事業もあるでしょうし、そういうところを会議の中である程度予算が見える

といいのではないかと。昨年度の財政支援ですか。バス事業者への財政支援というのが7億3,000万円なんだと思って見ていたのですけど。仮にその1%、700万円ですね。700万円で色々な事業計画に充てられるのであれば、それをどう効率よく市民利用を進めるために使っていったらいいかという話ができると、この会議も非常に有効なのではないかなと思いました。

(飯野会長)

この市民会議ができた当初からの懸案ですね。逆に言うと、こんなに安上がりに委員会や計画が動いている組織はおそらく全国的にも無いだろうと。実質予算ゼロで動いておりますので、そういう点では他の自治体からしたら「こんなうらやましい会議がよく松江市さんにはあるな」と思われている会議かなと個人的には思っておりますが、どうなのでしょう。実際問題として、今年度はもう予算が当然決まっているわけですが、その都度その都度こういったことが必要になれば、ある程度財政部局に予算要求をするということは、チャンネルとしてはあるかと思うのですけれども、この予算取りについては事務局としてはどんなふうにお考えでしょうか。

(比田課長)

先ほどございましたように、この会議そのもので会計を持つかどうかという問題が1点と、それからこういった計画に基づいてそれぞれの事業主体がどのくらいの経費を使って、どれくらいのことをやるのかということの2つ側面があるかと思っております。

この会自体が会計を持つかどうかということについては、明確なことを申しあげることにはなりませんけれども、要綱を見る限りはちょっと厳しいのかなと。市長からの諮問機関という位置づけになってございますので、一般的には無いのかなと。そういった委員会が予算を持っていることは無いということでございます。ただ、計画に基づいて執行する数々の施策については、可能なものについてはそれを経費的にも見える化をするということは不可能ではないと思っておりますので、少しその手法なども含めて、研究・検討させていただければと思っております。

それから、本市に限らずですが、協議会の予算の仕組み上、基本的には年度当初の予算に、すべての一年間の総経費と総収入を盛り込んで議決を得るとというのが原則となっておりますので、チャンネルとしていわゆる補正予算というのも無くはないのですけれども、実態としてはかなり厳しいものはあるかと思っています。

いずれにしても、まずは来年度平成30年度にどういったことをやるのかということについては、きちんと明確化をして、それをしかるべき予算要求の段階ではきちんと要求をしていくというサイクルがございますので、事務局としてはそれをきちっとやっていきたいと考えております。以上でございます。

(飯野会長)

田中さんの意見も非常に重要ですし、課長のジレンマもよく分かります。ただ場合によっては、やはりこういう予算要求をしているのかというのは、ここで一回オープンにできるものであるならばオープンにすることがあっても良いのかなと思っています。

ここにいる皆さんにもぜひ知っておいてほしいのですが、この委員会で前から、松江駅の横断をする人がそのうち事故に、この間も事故があったわけですが、けが人が出たりとか、一番最悪の事態は死亡事故になるということが起きてはいけないということで、横断ができないようにするためにもうちょっと安全対策をきちっとしましょうという予算要求ですが、今回も確か予算がつかなかったのですよね。ですから、そういう市民会議でいろんなことを議論されて、「より安全でより使いやすいものにするためにこういうことをしたい」というのを、事務局を通じて予算要求をしてもらっているわけですが、実際にはそれがなかなか実現できていないという実態についての報告が、実はまだこの市民会議で一度もされたことがない。この部分はもしかすると、田中さんの先ほどの発言じゃないですけども、一度そういったことも議論の俎上に挙げるってことは必要なかもしれないですね。ちょっとこれを新しい検討課題として、ぜひ付け加えましょう。そういったことは知らないですよ。実際に今年どんな予算要求をして、どれが通

ってどれが通らなかったのか、ある程度このことは我々としても知っておいたほうが良いと思いますので、そんなことを検討するってことでよろしいでしょうか。事務局としてもよろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

この会議の良い所は、できるだけ実現するということで、前向きにやっていくところですので、どんどん出していただければと思います。「ダメなことはできませんでした、ごめんなさい」と言って謝りますので。よろしいでしょうか。そうしましたら今年は先ほど提案がありましたように、29年度の事業計画に従って行うということと、ノーマーカーウィークに関しましても、先ほどのような要領で進めさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

協議事項(2)要綱改正について

(飯野会長)

そうしますと、次は要綱改正等ですね。(2)要綱改正について事務局より説明をお願いいたします。

(岩崎主任)

要綱改正について資料8を基に説明。

(飯野会長)

要綱の改正につきましてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

4 その他

(飯野会長)

そうしますと、本日の議題等は以上になりますが、例年、いつものことですが、交通事業者・事務局の皆様からお知らせ等がございましたらよろしくをお願いいたします。

(山崎委員)

一畑電車でございます。平素よりいろいろとお世話になりまして、ありがとうございます。

先ほど飯野先生の方からも、暑い時期でうちわというお話もございましたけれども、ビールもやはり夏の風物詩の一つと思っております。恒例となっておりますが、今年も一畑電車ではビール電車の酔電というものを運行をさせていただきたいと考えております。チラシに記載をさせていただいているのですが、定期運行を7月の7日と21日、それから8月の4日と18日の4回、松江から平田まで参りまして、また松江まで帰ってくるというコースで運行させていただくことにしております。また7月の1日から9月の30日までは、チラシの右下に記載をさせて頂いておりますけれども、15名様以上の団体の申込みがございました場合には、貸切という形で運行させていただくことにしております。職場であつたりとか町内会等々、皆様お集まりの時には是非ともまたご利用いただければと思っております。以上でございます。

それから料金につきましては、真ん中から下の所に記載をしております。男性・女性それから中高生と小人ということで記載をさせて頂いております。これ以外の料金・運賃は発生いたしません。また飲み物や食べ物につきましては、各自お持ち込みになることも自由となっておりますので、そのあたりもご協力いただきまして、よろしくお願いしたいと思います。以上でございます。

(飯野会長)

ありがとうございます。これに使われる車両と言うのは。

(山崎委員)

そうですね、二両編成の車でございます。宍道湖の北岸を私ども走っておりまして、ちょうど宍道湖が見えるように座席のレイアウトを変えております。そちらの車両につきましては、一応30名様が定員ということにしておりますけれども、それ以上のお客様につきましては、二両編成のうち、もう一編成のところに会議用の長テーブルとかを持ち込むことも可能でございますので、よろしくお願いしたいと思います。

(飯野会長)

ホームページか何かを見ると、車両の中のレイアウトなんかは載っているのでしょうか。

(山崎委員)

そこまではしておりませんが、またお問い合わせいただければ何らかの形でご回答させていただきたいと思います。

(飯野会長)

特に貸切などの時には、例えば人数とかどんな座り方をしたいとかによって、列車のバリエーションを変えてもらえることってあるのですか。

(山崎委員)

はい、ございます。先日も、今日お越しになっておられます島根県旅客自動車協会さんにご利用いただきまして、その時はチラシとは違う車両に長テーブルも持ち込みまして、それで 50 名弱のお客様にご利用いただいております。車両につきましても、人数につきましても、それから運行時間につきましても、定期列車に支障がない所で全線において運行をしておりますので、何なりとご相談いただければと思います。

(飯野会長)

というようなことをぜひ来年は裏面に書いていただけると、「あ、こんな使い方もできるのか」「こんな使い方ができるのだったら使ってみようか」って思えるようなチラシを作ってもらえると嬉しいなと、ちょっと思いました。よろしくお願いします。

(山崎委員)

ありがとうございます。

(飯野会長)

他に皆さん。私ばかり質問して申し訳ないのですが、貸切にすると何か良いことがあるのでしょうか。

(山崎委員)

特にございません。

(飯野会長)

せっかくですから、8 月の市民会議が終わった後、これにみんなで乗ると良いことがあるのかな、なんてちょっと頭をかすめたものですから。

(山崎委員)

先ほど申し上げましたように、そういうことにつきましてはご相談をさせていただきたいというふうに思っております。

(飯野会長)

わかりました。ありがとうございます。何かと相談に乗ってくださるということですので、どうぞ皆様、職場・町内会等々でご利用いただければと思います。

他に事業者の皆様から、お知らせ等がございますでしょうか。

(梶谷委員)

一畑バスの梶谷と申します。今回初めて参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

松江市交通局さんと共通で夏休み定期券を昨年同様実施いたします。まだチラシができてないので、またご報告させていただきます。やるということは決まっておりますので。それと、バスまつりを 9 月に実施しますので、ご参加をよろしくお願いいたします。

(飯野会長)

9 月 18 日の月曜日ですね。他に皆様から、あるいは「最近こんなところに行ってこんなバスの面白いもの見た」とか「こういうバスの利用の形態をぜひ松江市でもやって欲しいです」とかありましたでしょうか。「素敵なそういうものを見た」とか。そんなことでも結構です。いろんな情報をみんなで共有することで、より良いバスにしていくことができますので、どうかまた旅行先等で気がついたことがあったら伝えてください。よろしくお願いします。

4 閉会

(飯野会長)

そうしますと、市民会議については以上ということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。では事務局にお任せしますので、あとはよろしくお願いいたします。

(比田課長)

ありがとうございました。飯野会長には、スムーズな議事進行をいただきまして大変ありがとうございました。それでは以上をもちまして、平成 29 年度第 1 回の松江市公共交通利用促進市民会議については閉会いたしたいと思います。次回は 8 月下旬の開催を予定しておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。